

稲沢市と日本郵便株式会社との包括連携に関する協定書

稲沢市（以下「甲」という。）と日本郵便株式会社（以下「乙」という。）は、以下のとおり協定（以下「本協定」という。）を締結する。

（目的）

第1条 本協定は、甲と乙が相互に連携及び協力して、それぞれの人的・物的資源等を活かした協創による社会課題の解決等を図り、市民の安心・安全な暮らし及び市民サービスの向上等を推進することを目的とする。

なお、乙においては別記に定める郵便局が本協定を実施する。

（連携事項）

第2条 甲及び乙は、前条の目的を達成するため、連携して次に掲げる事項（以下「連携事項」という。）について、業務に支障のない範囲で、取り組むものとする。

- 市政のPR・稲沢市の魅力発信に関すること
- 地域経済活性化に関すること
- 安心・安全な暮らしの実現に関すること
- 未来を担う子どもの育成に関すること
- 高齢者・障がい者支援に関すること
- 健康増進・スポーツの振興に関すること
- 環境保全の活動に関すること
- その他地方創生に関すること

2 甲及び乙は、連携事項を効果的に実施するため、定期的に協議を行うものとする。また、具体的な協力内容については、甲乙合意の上、決定する。

（協定内容の変更）

第3条 甲又は乙のいずれかが、本協定の内容の変更を申し出たときは、その都度協議の上、書面により必要な変更を行うものとする。

（免責）

第4条 甲又は乙は、連携事項について協力をした場合及び協力しなかった場合のいずれにおいても、その責任を負わないものとする。

（守秘義務）

第5条 甲及び乙は、連携事項の具体化の検討及び第2条第2項に基づき決定した協力内容の実施により知り得た相手方の秘密情報を、相手方の事前の書面による承諾を得ずに第三者に開示又は漏えいしてはならない。

2 甲及び乙は、本協定が理由のいかんを問わず終了した後も、前項に定める秘密保持義務を負うものとする。

（有効期間）

第6条 本協定の有効期間は、締結日から令和6年（2024年）3月31日までとする。ただし、本協定の有効期間が満了する日の1か月前までに、甲又は乙が書面により特段の申し出を行わないときは、有効期間が満了する日の翌日から1年間本協定は更新され、その後も同様とする。

（協議）

第7条 本協定に定めのない事項又は本協定に定める事項に関し疑義等が生じた場合は、甲乙協議の上、決定するものとする。

本協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲乙それぞれ署名押印の上、各自その1通を保有するものとする。

令和5年11月14日

甲 愛知県稲沢市稲府町1
稲沢市
市長

加藤錠司郎

乙 愛知県稲沢市朝府町15-6
日本郵便株式会社 稲沢郵便局
局長

松下 晴彦

愛知県稲沢市稲葉2-7-26
日本郵便株式会社 稲沢稲葉郵便局
局長

杵山 浩司

別記

稲沢郵便局	稲沢稲葉郵便局	平和郵便局
稲沢下津郵便局	森上郵便局	矢合郵便局
西光坊郵便局	稲沢駅前郵便局	大里郵便局
千代田郵便局	稲沢国府宮郵便局	稲沢奥田郵便局
稲沢日下部郵便局	祖父江郵便局	一宮郵便局